

熊本県立  
1994.12  
大学学報

創刊号

春

秋

shunjūsai

彩



総合管理学部

1年 東野吾郎さん

1年 西嶋美衣さん

春秋彩とは

「万葉集」の額田王の春秋を論じた歌の詞書「春山の万花の艶と秋山の千葉の彩」から採ったもの。

「春秋」には年月の意味もあり、「春秋に富む」若者を彩る学園の四季を表している。

## 新しい伴走者が 登場した

イギリス紳士の松垣先生から、ドイツふう田夫野人の私へ、たすきがリレーされました。走者のタイプは違って、めざすは同じゴールです。47年の華やかな伝統の土台の上に、より大きく高く豊かな学の殿堂を築き上げること。もう目の前に迫っている新しい世紀を担う広い視野と哲学と実践力を開発すること。そして、地域に全国に世界に貢献すること。しかし、この駅伝で実は私など伴走者にすぎず、真のランナーは皆さん、学生諸君です！



手島 孝

14.9.1~

新旧  
学長

メ  
ッ  
セ  
ー  
ジ



松垣 裕

## 「学報」に期待する

このたび「学報」が装いを新たに再び発行されると聞き、誠に嬉しく思います。「学報」に期待するものは少なくないが、とりわけ学外に向けての情報発信機能には大いに力を入れて欲しい。大学は一見ガラス張りのようでも、外からは案外見えにくいものです。〈開かれた大学〉を標榜(ひょうぼう)する県立大学であれば、日常活動を広く知らせるだけでなく、県民にも呼びかけ、発言することで、より身近かな存在となることがいま強く求められています。

# 新しい時代が求めた、意義ある変革。 熊本県立大学は、未来に向かって動き始めました。

## 本学の基本理念について (要約)

### 1 総合性への志向

本学は、人文・社会・自然の学問の三分野をおおう総合的な大学として、学際的な方法による総合的な知識の形成と学問の創造を目指す。

### 2 地域性の重視

本学は、〈地方の時代〉とも言われる現状において、地域の社会と住民に開かれたものになること、地域社会が当面する諸問題を分析し解決すること、地域の文化の創造の一機関となること、を目指す。

### 3 国際性の推進

本学は、〈国際化〉の時代に対応して、西欧の文化とともにアジアやわが国の文化を学びながら、世界の人のびととの交流をすすめ、国際的・多面的な文化の創造を目指す。

## 一大改革の年の入学式 入学者数 460名 (男子 137名)



熊本県立大学として初めての入学式が、4月12日(火)熊本県立劇場において、新入生460名の他、多数の保護者、学校関係者の参加のもとで行われた。総合管理学部の増設、「熊本女子大学」から「熊本県立大学」に名称変更、全学部共学化など一大改革を成し遂げた今年度の入学式は、本学の歴史に一つの大きな画期をなす出来事であった。

式では学長が「学生間、教師と学生、大学

と地域の対話がさらに要請される。対話よ興れ」と式辞が贈られ、続いて福島知事から「県立大学一期生として目的意識を持ち、切磋琢磨し、躍動感ある若者になってほしい」と告示があり、県議会議長から祝辞が述べられた後、入学生を代表して総合管理学部の猿渡洋一さんが「これまでの伝統の上に立ち、新たな伝統と飛躍を遂げる門出の年で、これ以上自分の可能性を試せる場はないと思う。後輩のためにも期待に応えて行きたい」と宣誓した。

新入生460名の内男子学生が137名。新しいスーツの中に希望を抱いた学生と共に、県立大学は新たなスタートを切った。

## 生涯学習に因るため公開講座を実施 地域講演会を本渡市・田浦町・南小国町で開催



県民の高まる生涯学習への意欲に因るため、本学では授業公開講座と地域講演会を実施している。授業公開講座は、正規の授業を県民に公開し、受講生が学生と机を並べて1年又は半年学習するというユニークなもの。平成6年度は41講座、延べ217人が受講している。一方地域に開かれた大学を目指して、キャンパス外で講演を行うのが地域講演会。地域の方々を対象に身近な

テーマについて学習する機会を提供するもので、8月の田浦町及び本渡市に続き11月6日に熊本県教育委員会の主催する、熊本県生涯学習フェスティバルの協賛事業として、南小国町の自然休養村管理センターで開催された。講師は、生活科学部の鈴木公助教授と総合管理学部の石橋敏郎教授。鈴木公助教授は「高齢者の食生活と健康を考える」と題し、栄養学のA B Cから始まり、バランスのとれた食生活の必要を強調した。地元南小国町出身の石橋教授は「南小国を支える女性達」と題し、14年間の南小国での生活を振り返りながら、地域を支える女性達に自覚と社会参加へのエールを送った。

他講演会については  
右記のとおり

8月2日 田浦町農村環境改善センター  
生活科学部 亀山春教授「食文化と健康」  
文学部 星乃治彦助教授  
『「国際化時代」に文化の違いを考える』

8月5日 本渡市民センター  
総合管理学部 永尾孝雄教授「現代社会の福祉について」  
総合管理学部 米澤和彦教授  
「家庭のあり方～豊かさの中の貧しさ」

## 本学の新たなスタートを祝う 発足記念式典開催



熊本県立大学としての発足記念式典が、6月9日に本学大講義室で行われた。

「熊本女子大学」から名称変更し、全学部共学化という改革を成し遂げた今回の式典には、県内の大学・高校・教育関係者や県外の公立大学代表者ら約300人が出席した。

式典では、開式の辞の後に、福島知事による「官民を問わず優秀な人材を育成し、地域に貢献することが県立大学の責務」と

式辞が贈られると、松垣学長は「大学の成熟に向け一丸となり取り組みたい」と挨拶した。続いて、馬場熊本県議会議長、公立大学協会代表（小野広島県立大学学長）、県内大学学長代表（森野熊本大学学長）からの来賓祝辞があり、生まれ変わった本学への熱い期待と要望が語られた。来場いただいた来賓の紹介が終わると、先進性と躍動感をイメージした本学のシンボルマークの入った応援旗を、学長より学生自治会に授与。本学の学部学科、各種施設などを紹介した記念ビデオの上映が行われ、閉会の辞となった。

式典後、出席者には実際に学内施設が紹介され、より深い理解と親交が深まった。

## 本年も大学説明会を開催 750名ちかくの受験生が参加



8月5日(金)に平成6年度熊本県立大学説明会(オープンキャンパス)が開催された。これは、九州管内の受験生やその保護者を対象に、学部・学科の紹介、平成6年度入試の結果、平成7年度入試の概要、就職状況について、説明や質疑応答を行うもので、最後にキャンパス内の施設見学が行われた。今年は、昨年の約480名を大きく上回る約750名の参加があった。

今回は、各学部で会場を分け同時にそれぞれの学科の先生方が進行・説明を行った。学科の紹介では、新しく作られた大学案内ビデオの上映や、スライドなど最新のA V機器が用いられた。最後の施設案内では、新講義棟、外国語教育センター、図書館等の最新設備の見学があり、受験生が熱心に眺めていた。今回は参加者数も増え、活気がある説明会となり、受験生の本学に対する期待と関心の高さが感じられた。

この大学説明会(オープンキャンパス)は来年も開催される予定。また、県内の高等学校・予備校の先生への大学説明会は、7月22日(金)に行われた。

## 熊本県立大学版 94年就職状況白書

近年、「氷河期」、「土砂降り」などと言われている女子学生の厳しい就職環境の中で、平成6年3月卒業の本学学生は、苦心しながらも健闘し、全国平均の70.5%を上回る75.0%の就職率であった。

現4年生の就職状況は、景気低迷による採用枠の大幅削減やリストラ等の影響を受け、

平成6年12月1日現在の内定率は、全国平均を若干上回っているものの前年同期に比べ約4ポイント低く58%となっている。内訳では、民間企業が73.4%(前年同期71.2%)、公務員が18.3%(同18.4%)、教員が8.3%(同10.4%)となっている。

本学の就職対策としては、教授陣を中心として組織する学生部委員会と学生課とが一体となり学生の相談、指導、或いは、就職先の開拓にあたっており、3年次の前期に行う面接を皮切りに、就職ガイダンス、個別面接、OG説明会、体験発表会、公務員講座、

教員講座等を行うなどきめ細かな就職指導を行っている。

総合管理学部は、日本で初めての学部であり、新たな取り組みが課題となっているため、本年6月には、1年生を対象に就職アンケート調査を実施し、新規企業開拓、公務員講座の充実、各種セミナーの開催など、学生のニーズにあった就職対策を行うこととしている。その一環として、総合管理学部では就職意識を啓発するため、11月に就職懇談会を開催するなど4年後の就職をめざし全学一丸となり就職対策に取り組んでいる。

## 平成7年度より 単位互換が実現

平成6年7月25日、本学は熊本大学及び熊本学園大学と協定を結び、平成7年度か

ら、4学部(本学総合管理学部・熊本大学法学部・熊本学園大学商学部・同大学経済学部)間で、大学間交流と教育内容の充実を目的とした単位互換を実施することで合意した。

この制度は、協定大学学部の学生が、お互いの別大学の学部の授業を履修しその単位を修得すれば、自大学の卒業要件単位と

して認められるというものであり、同制度の実施により、今後本学総合管理学部の学生は、熊本大学や熊本学園大学の授業を学ぶことが可能となる。

なお、各大学の提供授業科目、手続きなど具体的な実施内容については、現在、大学・学部間で話し合いが進められている。

## 人事異動

### 【役職紹介】

学長	手島 孝(てしま たかし)
事務局長	國津 英愛(くにつ ひでとし)
事務局次長	上田 恒義(うえだ つねよし)
文学部長	重松 裕巳(しげまつ ひろみ)
生活科学部長	飯尾 雅嘉(いひお まさよし)
総合管理学部長	米澤 和彦(よねざわ かずひこ)
学生部長	久間 清俊(くま きよとし)
図書館長	上河 一之(かみかわ かずゆき)
外国語教育センター長	下瀬 三三郎(しもせ みちろう)

### 【教員人事異動について】

名前	①職名 ②昇任/採用/転出/その他 ③専門
----	-----------------------

### 学長

手島 孝(てしま たかし) ①教授/学長 ②採用 ③アドミニストレーション総論

松垣 裕(まつがき ゆたか) ①学長 ②退任

### 文学部

山田 俊(やまだ たかし) ①講師 ②採用 ③中国語

### 生活科学部

福岡 義之(ふくおか よしゆき) ①講師 ②採用 ③健康科学

石本 京子(いしもと きょうこ) ①教授 ②退職 ③化学

### 総合管理学部

今野 登(いみの のぼる) ①教授 ②採用 ③ビジネス・アドミニストレーション

丹生谷 龍(にぶや りゅう) ①教授 ②採用 ③労務管理論

久保山 千秋(くぼやま ちあき) ①教授 ②採用 ③プログラミング

野村 武(のむら たけし) ①教授 ②採用 ③情報システム論

片岡 勲(かたおか いく) ①教授 ②採用 ③パブリック・マネジメント

藤尾 好則(ふしお よしのり) ①教授 ②採用 ③情報システム開発論

中宮 光隆(なかつみや ひろたか) ①教授 ②昇任 ③金融論

渡邊 榮文(わたなべ えいぶん) ①教授 ②採用 ③パブリック・アドミニストレーション

永尾 孝雄(ながお たかお) ①教授 ②昇任 ③社会と国家

石橋 敏郎(いしばし としろう) ①教授 ②昇任 ③福祉行政論

松岡 泰(まつおか やすし) ①教授 ②採用 ③政治の基礎理論

今川 晃(いまがわ あきら) ①教授 ②採用 ③地方自治論

松野 了二(まつの りょうじ) ①助教授 ②採用 ③情報処理論

税所 幹幸(ぜいしょ かつゆき) ①助教授 ②採用 ③情報処理基礎論

津曲 隆(つまがら たかし) ①助教授 ②採用 ③情報処理基礎論

森 美智代(もり みちよ) ①助教授 ②採用 ③会計学

石森 久広(いしもり ひさひろ) ①助教授 ②昇任 ③財政学

高埜 健(たかの たけし) ①助教授 ②昇任 ③国際関係論

黄 在南(わう なん) ①講師 ②採用 ③組織行動論

木原 佳奈子(きはら かなこ) ①講師 ②採用 ③公共政策論

苗村 辰弥(なえむら たつや) ①講師 ②採用 ③憲法原論

井田 貴志(いだ たかのり) ①講師 ②採用 ③経済の基礎理論

### 外国語教育センター

David Tomlinson ①教授 ②採用 ③英語

Collin Painter ①助教授 ②採用 ③英語

Paul Beaufait ①講師 ②採用 ③英語

Daniel Kirk ①講師 ②採用 ③英語

Myles MacAuley ①外国人教師 ②採用 ③英語

Farrell Cleary ①外国人教師 ②採用 ③英語

# テーマは「REBIRTH」 “再生”

## 新生白亜祭にぎやかに開催



県立大学となってから初めての学園祭となる第30回白亜祭が、11月12日・13日の両日開催された。両日とも好天に恵まれ多くの来場者でにぎわった。来場者の中には家族連れも多く見られ、地域に開かれた大学という本学の趣旨をそのまま現しているかのようだった。

会場となったキャンパスでは、各学科・サークルごとに趣向を凝らした模擬店や展示発表会があり、広場から教室から終日楽しそうな笑い声が聞こえていた。

ステージを中心に行われた本部企画は、12日正午のオープニングから「宝さがし」「サークル対抗クイズ」そして本学初の「ミスター白亜コンテスト」が開催された。ミスター白亜に輝いたのは総合管理学科1年の<sup>あずの ごろう</sup>東野吾郎さん。午後3時からは大講義室でMr.レディ「ベティトークライブショー」が「男らしさ・女らしさとは」と題して開催された。午後5時から、昨年雨で中断してしまった「するめ女大会」が「輝け!!するめ大賞」として行われた。

13日は午前10時から「学科対抗クイズ」を皮切りに、ストリートバスケット3on3の予選・決勝、午後3時から「ミス白亜コンテスト」そしてフィナーレと花火の打ち上げが行われた。今年のミス白亜に輝いたのは総合管理学科1年の<sup>にししま みえ</sup>西嶋美衣さん、3on3の優勝チームは「がんばれタイガース」だった。

男女共学となった本年度の学園祭は、スタッフに男性が参加したことでよりパワーアップしており、本学の展望の明るさが見えるようであった。

# 施設の整備状況

## 充実したキャンパスライフを目指して

本年4月の大学の共学化・新学部増設を機に、総合管理学部棟・図書館・駐車場並びにテニスコート等新設、既存校舎の外壁補修・塗替をした。さらに、第1学生会館を書籍売店へ、旧図書館を第2学生会館(食堂)へ改修した。現在2期工事中で、第2体育館、プールを平成6年度中に、第2グラウンドは平成7年10月に完成の予定である。

### ◀ 食堂・喫茶

1階食堂部はランチ、丼物、麺類や一品料理等、2階喫茶部は軽食、セットメニュー、ケーキ等をおいている。学生食堂によると、オープン当初あまり人気なかった和食も、中華・洋食と並んで好評で、特にランチは連日売切れるそうだ。

### ◀ 書籍・売店「丸善マイブラザ」

洋書を含む書籍、CD、雑誌を始め、文具、ルージュ等日用品、ガム等のスナック類がそろっており、他にも英検、TOEIC等各種検定、自動車免許、レンタカー、コンタクトレンズ、航空券、宅配便等々幅広く取り扱っている。



熊本県立大学の主な行事  
(H6.4.~11.)

- 4月 12日 入学式  
14日 平成6年度授業公開講座開講式  
15日 前期授業開始

5月 2日 開学記念日

- 6月 9日 熊本県立大学発足記念式典  
25日 祥明女子大・短期研修団来訪



- 28日 学長選挙投票日  
29日 インカレ(~8月21日)

- 7月 3日 3年次進路面接  
8日

- 11日 留学生との交流会  
22日 大学説明会(教員向け)  
25日 単位互換に関する調印式  
25日 外国語教育センター夏期講座(第一回)  
29日

- 8月 2日 地域講演会(田浦町)  
5日 大学説明会(一般向け)  
6日 地域講演会(本渡市)  
22日 外国語教育センター夏期講座(第二回)  
26日  
31日 松垣学長退任

9月 1日 手島学長就任



- 20日 前期試験  
30日

- 10月 3日 書籍・売店・CDオープン  
後期授業開始  
公務員セミナー開催

- 18日 大学院(前期)入学試験  
26日 就職ガイダンス  
28日 大学院(前期)合格発表

- 11月 1日 平野龍一氏講演会  
学食オープン  
2日 松垣氏名誉教授称号授与  
5日 韓国・祥明女子大・学校へ  
14日 教育実習団派遣  
6日 地域講演会(南小国町)  
12日 白亜祭  
13日  
16日 マスコミセミナー  
22日 山口五郎氏講演会



熊本県立大学

総務企画課  
〒862 熊本市健軍町字水洗2432-1  
TEL.096(383)2929(代) FAX.096(384)6765